



MAX SPEED 246.744km/h

グロリア グランツーリスモSV VG20DET
TO-4Eシングルターボ by オートセレクト

フルサイズカーで250km/h!?

昨年のフルモデルチェンジからガ
然戸調のY31。中でも2リッターの
スポーツモデル。グランツーリス
モは赤丸急上昇の筆頭。パワーユニ
ットにV6・ツインカムハイフロ
ーセラミックターボのVG20DET
(ネット185PS)の魅力と、ハ
イソナーでありながらもカッコ良
さを兼ね備。デビューから1年が過ぎ、
その間にマフラーやエアロパーツが
いくつかリリースされたものの、そ
こはニューモデルの常、本格的なエ
ンジンチューンはこれからという状
況だ。

ユーンド・バイ・オートセレクトの
グロリア・グランツーリスモSV。
マキシマムスピードはなんと一気に
246.744km/hをタタキ出し
たのである。これはとにかくビッグ
ニュースである。それはなぜか？
このデーターがY31のチューンド
最速車になったのに他ならない。
では、どんなチューニングが施さ
れているかといえば、ベースとなる
VG20DETの内部はノーマルのま
ま、セラミックのノーマルタービン
からTO-4E(A/R0.58)に。
燃料系に720cc/1mmのサブインジ
エクターをトラストのレピックIIで

コントロール。ブーストはEVCで
制御。さらにノーマルにはないイン
タークーラーをプラス、現代のチュ
ーニングで避けて通れない電子はオ
リジナルコンピューターによってブ
ーストカット、スピード&回転リミ
ッターの機能を停止させると同時に
メインインジェクターの噴射量を増
すプログラムがなされている。
さらにHKSスタンダードウエス
トゲート、タナベのトルコン/オイ
ルクーラーなども備えられている。
設定ブースト圧は1.1kg/cm²、この
仕様でのシャシダイナモ測定のパ
ワーは290PS、エンジン内部が

ノーマルということ考
え合わせると、驚異
的なビッグ・パワーな
のだ。
外観はロックンビー
トのリアウィング&ホ
イルが与えられ、さ
らにソレらしいモノだ
マキシマムスピード
のトライにはチューニ
ングを行なったオート
セレクトの沢さんも同
乗。300PSに近い
パワーを得たグランツ
ーリスモは、ノーマル

オーナー
登場

ベンツにも負けない
明田雅宏さん

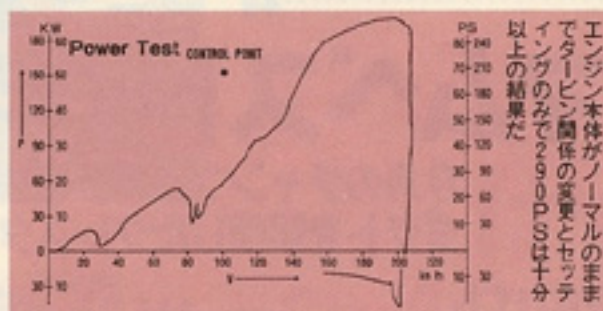
「グロリアのVG20DETはノーマルで
もなかなかいいけど、TO-4Eのフィー
リングは段違いですね。ハイスピード
で巡航できるし、ベンツにも負けないと
思います。結果はミッショントラブルが
あったので不満です。この記録が抜かれ
たら、また次のチューンを考えますよ」



エンジンパワーを左右する排気系のチューンアップはロックンビートの70マフラーを使用している



追加メーターやRebic IIなどの補機類はグローブBOXにセットし室内をシンプルにしている



VG20DETダイジェスト



初のチューンで高性能を証明
VG20DETのグロリアをいち早くチューン
したのがトライアル。本誌増刊チューニング
マニュアルVol.3でTD-05タービンを装着
し、220.183km/hを記録。グロリアというフ
ルサイズカーで220km/hはVG20DETのポ
テンシャルの高さを証明した

ライバル
の眼

トライアル
牧原道夫氏



「今回の仕様でグランツ
ーリスモの箱型ボディを
246km/hまで引っぱった
のは上出来やね。なんと
いってもこのクルマのネ
ックはATの強度。多分
これ以上のパワーアップ
はATの大きかりな手術
が必要となるので、この
仕様でコスト的にもベス
トとちがうかな」



室内は、ステアリングをイタルボランテに替
えてある以外で目に見える変更点はない



ノーマルのFスポイラーに
付いているフォグを取り外
し、インタークーラーを装
着している

オートエキジム 80 7月号